



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 新田ゼラチン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4977 U R L <http://www.nitta-gelatin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 竹宮 秀典  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 安藤 啓 T E L 072-949-5381  
 配当支払開始予定日 -  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	28,170	△5.0	3,614	13.2	3,699	4.6	2,787	48.6
2025年3月期第3四半期	29,646	△1.4	3,193	107.2	3,536	106.5	1,876	-

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 3,870百万円 (48.5%) 2025年3月期第3四半期 2,606百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	153.36	-
	103.29	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
2026年3月期第3四半期	百万円	42,591	百万円	28,662	%	55.1
2025年3月期		40,413		25,374		51.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 23,452百万円 2025年3月期 20,692百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	-	9.00	-	16.00	25.00
2026年3月期(予想)	-	12.00	-	18.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

- |                     |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数           |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計）    |

2026年3月期 3 Q	18,373,974株	2025年3月期	18,373,974株
2026年3月期 3 Q	186,288株	2025年3月期	206,188株
2026年3月期 3 Q	18,177,736株	2025年3月期 3 Q	18,163,886株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）におけるわが国の経済は、インバウンド需要の堅調な推移や、雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の持ち直しなどにより、緩やかな回復基調が続きました。一方、世界では、米国の関税政策動向や、ウクライナ・中東情勢の地政学リスクに加え、金融市場の変動や資源・エネルギー価格の上昇など、当社グループを取り巻く環境は、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、革新と事業拡大によって従来にない飛躍的な成長を遂げるべく、2025年11月に長期経営構想を策定しました。「Lead in Asia. Challenge the World.」をビジョン（私たちのありたい姿）に掲げ、ゼラチン・コラーゲン業界における売上高アジアNo.1を目指し、成長スピードのさらなる加速と企業価値の向上に向けた取り組みを進めております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、日本や北米での販売減少により、28,170百万円（前年同期比5.0%減少）となりました。一方、利益面では、北米等での収益性改善などにより、営業利益は、3,614百万円（前年同期比13.2%増加）、経常利益は、3,699百万円（前年同期比4.6%増加）となりました。また、第2四半期連結会計期間において北米持株会社のニッタゼラチンホールディングInc.の清算手続きに伴い、法人税等が減少したことなどから、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,787百万円（前年同期比48.6%増加）となりました。

なお、当社グループは、コラーゲン事業の単一セグメントを適用しておりますが、製品区分別の販売概況は以下のとおりです。

#### (ゼラチン)

日本では、発酵乳向けや製菓・調理用など食品用途の販売が引き続き堅調に推移しました。また、ソフトカプセル用、ハードカプセル用の販売も堅調に推移したものの、写真用の販売が減少したことから、売上高は減少しました。

北米では、前第1四半期にあったニッタゼラチンユースエーInc.生産停止後の在庫販売分がなくなったことに加え、ニッタゼラチンインディアLtd.が輸出するソフトカプセル用の牛骨ゼラチンの販売が関税の影響により減少したことから、売上高は減少しました。

インドでは、ソフトカプセル用、ハードカプセル用の販売が引き続き好調に推移したことにより、売上高は増加しました。

その結果、ゼラチン全体の売上高は20,360百万円（前年同期比6.9%減少）となりました。

#### (コラーゲンペプチド)

日本では、当社顧客のコラーゲン商品の販売減少等により売上高は減少しました。

北米では、プロテインバー向け等の需要が引き続き旺盛で、売上高は大幅に増加しました。

インドやアジア市場でも、需要が引き続き堅調に推移しました。

その結果、コラーゲンペプチド全体の売上高は5,328百万円（前年同期比3.6%増加）となりました。

#### (食品材料)

収益性向上を目的とした商品構成見直しを進めた結果、食品材料全体の売上高は2,211百万円（前年同期比7.2%減少）となりました。

#### (バイオメディカル)

日本の主要顧客への販売量低下により国内での販売は減少したものの、海外向けの販売が引き続き伸長したことから、バイオメディカル全体の売上高は269百万円（前年同期比7.5%増加）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末比2,178百万円増加の42,591百万円となりました。主な要因は、投資その他の資産のその他に含まれるERP関連等の長期前払費用が631百万円並びに繰延税金資産が439百万円、有形固定資産が406百万円、受取手形及び売掛金が384百万円及び棚卸資産が267百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比1,109百万円減少の13,929百万円となりました。主な要因は、短期借入金が858百万円及び長期借入金（1年内返済予定を含む）が322百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末比3,287百万円増加の28,662百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が2,278百万円、非支配株主持分が527百万円、為替換算調整勘定が217百万円及びその他有価証券評価差額金が176百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は55.1%（前連結会計年度末51.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年11月12日に公表しました「中期経営計画の見直し並びに通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」の連結業績予想から変更はありません。

なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、当社経営方針及び国内外の諸情勢を考慮の上、国内同業他社の I F R S (国際財務報告基準) の適用動向等も踏まえ、I F R S (国際財務報告基準) の適用について検討を進めていく方針であります。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	5,007	4,837
受取手形及び売掛金	8,014	8,398
商品及び製品	6,684	7,223
仕掛品	1,530	1,245
原材料及び貯蔵品	3,063	3,077
有価証券	110	115
その他	452	573
貸倒引当金	△18	△5
流动資産合計	24,845	25,465
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,236	4,353
機械装置及び運搬具（純額）	2,277	2,663
その他（純額）	2,847	2,750
有形固定資産合計	9,361	9,768
無形固定資産		
のれん	91	44
その他	300	270
無形固定資産合計	391	315
投資その他の資産		
投資有価証券	3,073	3,207
その他	2,882	3,986
貸倒引当金	△142	△152
投資その他の資産合計	5,813	7,041
固定資産合計	15,567	17,125
資産合計	40,413	42,591

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	2,837	2,707
短期借入金	862	4
1年内返済予定の長期借入金	2,218	2,153
未払法人税等	192	456
賞与引当金	284	222
その他	2,441	2,524
<b>流動負債合計</b>	<b>8,837</b>	<b>8,069</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	4,104	3,846
退職給付に係る負債	1,257	1,254
その他	838	759
<b>固定負債合計</b>	<b>6,200</b>	<b>5,859</b>
<b>負債合計</b>	<b>15,038</b>	<b>13,929</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	3,144	3,144
資本剰余金	2,960	2,965
利益剰余金	12,177	14,456
自己株式	△137	△124
<b>株主資本合計</b>	<b>18,145</b>	<b>20,442</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	1,082	1,258
繰延ヘッジ損益	△21	10
為替換算調整勘定	1,119	1,337
退職給付に係る調整累計額	366	403
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>2,546</b>	<b>3,010</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>4,682</b>	<b>5,209</b>
<b>純資産合計</b>	<b>25,374</b>	<b>28,662</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>40,413</b>	<b>42,591</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	29,646	28,170
売上原価	21,985	20,042
売上総利益	7,661	8,127
販売費及び一般管理費	4,468	4,512
営業利益	3,193	3,614
営業外収益		
受取利息	87	107
受取配当金	57	72
受取賃貸料	47	47
為替差益	308	—
その他	44	43
営業外収益合計	546	271
営業外費用		
支払利息	95	56
為替差損	—	52
持分法による投資損失	96	68
その他	11	9
営業外費用合計	203	186
経常利益	3,536	3,699
特別利益		
固定資産売却益	248	12
投資有価証券売却益	—	5
特別利益合計	248	18
特別損失		
固定資産売却損	4	9
固定資産除却損	7	3
工場閉鎖関連損失	196	—
子会社清算損	—	4
特別損失合計	208	17
税金等調整前四半期純利益	3,577	3,699
法人税等	1,053	274
四半期純利益	2,523	3,425
非支配株主に帰属する四半期純利益	647	637
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,876	2,787

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,523	3,425
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	177
繰延ヘッジ損益	2	33
為替換算調整勘定	55	245
退職給付に係る調整額	18	36
持分法適用会社に対する持分相当額	32	△48
その他の包括利益合計	82	445
四半期包括利益	2,606	3,870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,880	3,251
非支配株主に係る四半期包括利益	725	619

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年7月17日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として2025年8月1日を期日とする自己株式の処分（19,900株）を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が4百万円増加し、自己株式が13百万円減少しております。

## (追加情報)

## (海外子会社の清算結了)

ニッタゼラチンユースエーInc.は、2025年2月27日開催の当社取締役会において、解散及び清算を決議し、2025年7月2日に清算結了いたしました。

同社は、前連結会計年度末より連結の範囲から除外しております。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	877百万円	989百万円
のれんの償却額	49	48

## (セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

当社グループは、コラーゲン事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

当社グループは、コラーゲン事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。